

原単位の改善のための取組に関する状況【2024年度提出分(2023年度実績)】※非特定事業者用

株式会社ツバキベジムーブ  
TSUBAKI VEGYMOVE Co.

銘柄コード -  
法人番号 5210001019823

日本標準産業分類	コード	項目名
中分類	01	農業
細分類 (申請事業)	013	野菜作農業(きのご類の栽培を含む)
エネルギー管理統括者	【役職】 【氏名】	

【エネルギーの使用の合理化】

主たる事業における エネルギー消費原単位※注 (2023年度実績)	原単位分母 ■■■■量(トン)				
	主たる事業の構成割合 □□.□ %				
事業者全体の エネルギー消費原単位 対前年度比	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	/	□□.□	□□.□	□□.□	□□.□
事業者全体の 5年度間平均原単位変化(%)	□□.□				

※主たる事業は、必ずしもエネルギー消費量の多寡で決定されるものではなく、日本標準産業分類の考えに基づき各事業者が決定したものを。

【電気の需要の最適化】

主たる事業における 電気需要最適化評価原単位 (2023年度実績)	原単位分母 ■■■■量(トン)				
	DR実施日数 □□				
事業者全体の 電気需要最適化評価原単位 対前年度比	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	/	□□.□	□□.□	□□.□	□□.□
事業者全体の 5年度間平均原単位変化	□□.□				

【ベンチマーク指標の状況(合理化)】

ベンチマーク区分	■■	■■■■業
目指すべき水準	□□.□	kWh/t以下
ベンチマーク指標の状況	達成	
ベンチマーク区分	■■	■■■■業
目指すべき水準	□□.□	kWh/t以下
ベンチマーク指標の状況	未達成	
ベンチマーク区分	-	-
目指すべき水準	-	-
ベンチマーク指標の状況	-	
ベンチマーク区分	-	-
目指すべき水準	-	-
ベンチマーク指標の状況	-	

エネルギー総使用量	0.0258	GJ	1,069	kWh
前年度エネルギー 総使用量	/		□□□□	kWh
非化石エネルギー 総使用量	□□□□	GJ	□□□□	kWh
調整後温室効果ガス 排出量	□□□□□	t-CO <sub>2</sub>		

【調整後温室効果ガス排出量の算定に用いた認証排出削減量等の量】

種別	合計量			
Jクレジット	□□□□□	t-CO <sub>2</sub>		
-	-	t-CO <sub>2</sub>		
-	-	t-CO <sub>2</sub>		
-	-	t-CO <sub>2</sub>		

【非化石エネルギーへの転換】

電気の非化石比率	事業者全体で使用する電気				
目標(2030年度)	15.0%				
直近5年度間の実績値	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	/	/	/	/	0.0
目安設定業種	■■	■■■■業			
目安(2030年度)	【指標】●●●●に向けた取組による、2030年度における●●●●の●●●●に占める●●●●の割合。 【目標となる水準】□□%以上				
目標(2030年度)	□□%				
直近5年度間の実績値	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	/	/	/	/	□□%
目安設定業種	-	-			
目安(2030年度)	-				
目標(2030年度)	-				
直近5年度間の実績値	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	/	/	/	/	-

【取組の概要:業界の事情等を考慮した取組について(定量指標)】

【取組の概要:業界の事情等を考慮した取組について(定性的事項)】

**1. エネルギーの使用の合理化に関する事項**  
人工光型植物工場では、植物の成長において、光と温度は重要な要素です。  
○従来の蛍光灯や高圧ナトリウムランプに代わり、エネルギー効率の高いLED照明を導入してまいります。消費電力が少なく、長寿命であるため、エネルギーコストの削減に努めます。  
○最適な温度管理システムを導入することで、エネルギーの無駄の削減に努めます。  
○エネルギー管理システム(EMS)は、エネルギー使用状況をリアルタイムで監視し、夜間電力の利用などにより、過剰なエネルギー消費を抑制します。これにより、エネルギーコストの削減と環境負荷の軽減に努めます。  
このような取り組みを通じて、エネルギーの使用を合理化し、持続可能な農業生産を目指します。

**2. 非化石エネルギーへの転換に関する事項**  
○地域社会とも連携し、再生可能エネルギーの普及やエネルギー効率化に努めます。  
○IoTを活用したスマート農業技術の導入を推進し、栽培に対するエネルギー使用の最適解の検討を行います。  
○従業員や関係者に対して、エネルギー効率化や再生可能エネルギーの重要性についての教育や啓発活動に努めます。

【取組の概要:カーボンニュートラルに向けて】

**1. 自由記述欄(カーボンニュートラルの実現等に資する事業者独自の取組や革新的技術に係る研究開発等の取組について)**  
●●●●...

**2. 関連リンク**

(タイトル)	: ●●●●●●(URL)
(タイトル)	: ●●●●●●(URL)
(タイトル)	: ●●●●●●(URL)

(注意事項)

・赤枠囲み欄は必須記載です。  
・再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法第37条第1項の規定による、賦課金に係る特例の適用を受ける期間においては、情報の公表を継続する必要があります。